

第 28 期第 1 回仙台市図書館協議会会議録

- ◎ 会議の日時・場所 平成 29 年 1 月 18 日（水）10 時 00 分～11 時 30 分
仙台市役所本庁舎 2 階 第 4 委員会室
- ◎ 出席委員の氏名 石川俊樹委員、遠藤仁委員、今野広元委員、
小林直之委員、坂田邦子委員、佐藤英博委員、
平塚美保委員、村上かずひこ委員、横山祐子委員、
渡辺祥子委員、渡辺通子委員
- ◎ 事務局職員氏名 市民図書館長 村上佳子、市民図書館副館長 高橋泰、
若林図書館長 岡崎修子、太白図書館長 福井健司、
泉図書館長 石垣伸樹、広瀬図書館長 高坂節子、
榴岡図書館長 中里省一、
市民図書館企画運営係長 佐竹幸成、
市民図書館奉仕整理係長 山田千恵美、
市民図書館企画運営係主査 松原佐重子、富田直美
- ◎ 会議の概要
 - 1 開 会
 - 2 委嘱状・任命状交付
 - 3 教育長挨拶
 - 4 委員自己紹介
 - 5 会長・副会長の選出
石川俊樹委員から、会長に遠藤仁委員、副会長に渡辺通子委員の推薦があり、全委員より承認された。
 - 6 会長・副会長挨拶
 - 7 館長挨拶・事務局紹介
 - 8 議長の選出
仙台市図書館条例施行規則第 14 条第 3 項に基づき、遠藤仁会長が議長となった。
 - 9 会議の公開について
会議を公開することとした。
 - 10 会議録署名委員指名
会長より、渡辺通子委員を指名。
 - 11 協議事項
 - (1) 仙台市図書館振興計画（第二次）最終案について
市民図書館副館長より、資料 1 に基づき説明。

〔委員からの主な質問・意見〕

議長

図書館振興計画（第二次）は来週、1月24日の定例教育委員会で審議に付されること、パブリックコメントの実施結果は概ねこの形で公開されることについて報告があった。最終段階となってきたが、何か質問や意見はあるか。とくに新しく委員になられた方、通読されて気付いた点があれば、ぜひご意見をいただきたい。

渡辺祥子委員

パブリックコメントの実施結果の1ページ目のNo.2の意見に「図書館だよりなどに、毎月の図書館別の人気資料など、統計資料を公表し、図書館の活用状況などを広く公開してはどうか。」とあるが、教育委員会の考え方として「内容について工夫してまいります。」と回答されている。ブックツリーを始め図書館で作成している広報資料はたくさんあるが、図書館以外で目にするのは少ない。図書館に限らず市政だより等仙台市で発行している資料も市の関係施設以外であまり見かけない。もう少し広く一般の方の目に触れるような広報の仕方をさらに工夫してほしい、というのがこのご意見の趣旨だと思われるので、考え方の記述を少し検討してはどうか

議長

内容はもちろんのこと、情報発信の仕方をどうするか、情報が氾濫する中でどうやって図書館に注目してもらうかは、以前から課題となっていた。目を留めてもらう方法を模索していかなければならない。この時期でもあり、表現の変更まではよいのではないか。

貸出ランキングのようなものは、広く公開しているのか。

事務局

HPに貸出や予約のベストランキングを公開し、閲覧できるようにしている。館によっては、館内に貼り出したりもしている。

議長

本を作成している立場から、小林委員のご意見はどうか。

小林直之委員

現代性がある内容と感じた。旧態然とした公共図書館のイメージとは一線を画して市民の要望に応える形になっている。また、やみくもに新しいものを取り入れたり、蔵書を増やしたりするのではなく、現在あるものを財産とし、しっかりと活用してこういう姿勢が見られるところも良い。レファレンスサービスや子どもに対する施策で、ロングセラーとなっている児童書や古典といわれる蔵書の活用に力を入れてもらいたい。

議長

問題点やもう少し加えた方がよいと感じるところはなかったか。

小林直之委員

図書館を利用している方に対する内容になっていることは仕方がないのではないかと。利用していない方にこの方針や理念がどこまで通じるかは難しいところだ。

議長

生涯学習課所管の「子ども読書活動推進計画」の方でも、ヤングアダルト世代の読書活動をどのように推進していくか議論されているが、中学校で実際に指導されている平塚委員はこの振興計画最終章についてどのように感じられたか。

平塚美保委員

ヤングアダルト世代の活字離れは確実で、子どもたちを本に近づけることは我々教師にとっても課題となっている。広報に力を入れたり、コーナーを充実させたりするといった施策はもちろん望ましいことではあるが、図書館は待っているだけではだめで、積極的に子どもたちの中に入っていく必要がある。図書館に足を運ばない子どもに対して図書館の楽しさを知らせるため、学校を通しての広報等工夫が必要だ。

議長

小学校に比べ中学校で急に不読率が上がるのを見ると、学校の先生方をお願いするべき部分が大いと思われる。実施段階でどのように踏み込んでいくか、手法を工夫していかなければいけないというご意見で、さらに知恵を出し合って考えていく必要がある。

佐藤英博委員

p.15に挙げられている「防災・減災教育のための資料提供」は、子どもたちにとっても非常に重要だ。p.4の「(2) 東日本大震災の影響」でも、図書館に行けば防災・減災教育に関する資料が読めるといった、p.15の施策に呼応した形での記載が必要なのではないか。

議長

記述に加えることとし、文言等は事務局と会長におまかせいただきたい。

12 報告事項

(1) 仙台市榴岡図書館指定管理者の選定経過及び結果について

市民図書館副館長より、資料2に基づき説明。

[委員からの主な質問・意見]

特になし。

13 その他

(1) 次回日程について

事務局

平成29年4月下旬を予定している。日時、会場等は調整させていただいたうえで後日連絡する。

(2) 郷土のかぜ、YA通信、ブックツリーについて

市民図書館長より、資料に基づき説明。

議長

以上で議事を終了する。

14 閉会